

(報告)

「平野の地盤研究グループ」の活動状況について

世話人代表 川島隆義

平成16年度研究会活動の一環として、平野地盤に関する長期的な視点を含む研究グループが発足いたしました。

この研究グループ発足の目的は、会員が自主的に非会員を含むメンバーを募り、最も社会経済的に需要の多い平野部の地下地質・土質・地下水等について、貴重な調査資料を有効活用しながら地盤情報のデータベース化を含む継続的な研究を行い、それら成果を広く公表することにより、会の社会貢献活動の一環とすることを目的にしています。

研究会のそれら社会貢献活動を通して、一般の方々に地質・土質調査の重要性の認識を高めると共に、関連業界の振興、調査・解析技術の向上・革新、さらに研究の遅れている最も新しく形成された新潟県内の平野形成史解明にささやかな貢献が期待されるところです。これまでの活動経過は次の通りです。

平成16年 6月25日 呼び掛け人による準備打ち合わせ会（於：キタック会議室）

7月2日 新潟応用地質研究会総会、春の例会に於いて平野地盤研究グループ発足の趣旨説明、並びに参加希望会員の募集（7月15日まで）

（7月13日に7・13水害発生、第1回打合せを検討していたが延期）

8月上旬 研究会ホームページに研究グループ発足の趣旨、並びに参加希望者を再度募集（8月末まで）

9月6日 第1回打合せ（於：ほんろく亭 蔵）

運営規約、メンバーリスト、世話人、研究内容、分野、手順等を決定
作業は研究対象別にグループ分けし行うこととした。

9月23日 第1回例会（於：万代市民会館）

短期研究内容の他、作業グループ分け、さらに次の講演会を開催した。

(1)東京低地における沖積層の発達様式について(産総研 田辺 晋氏)

(2)越後平野における沖積層、及び五泉地域の深いコアの堆積相解析
について(京都教育大 田中里志氏)

例会後、講師を囲み懇親会を開催した。

(第2回打合せを10月26日に予定していたが、10・23中越地震発生により当分延期を決定)

平成17年 2月23日 世話人会で今後の活動を検討（於：ほんろく亭 蔵2階）

4月15日(金) (午後4時から「ほんろく亭 蔵」2階会議室)に第2回打合せを決定。懇親会を含め活動を再開することとした。

災害続きの平成16年度の活動は、以上の経過をたどっております。これからも会員の皆様からより一層のご支援をお願い申し上げます。